

平成27年度

事務事業評価表 A (平成26年度の実績評価)

記入年月日
平成 27 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 財務会計上の位置付け, 事業期間, 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

Table with columns for 手段, 目的, 結果 and rows for ① 事務事業の概要, ② 担当者が行う業務の内容, ③ 対象, ④ 意図, ⑤ 結果, ⑥ 活動指標, ⑦ 対象指標, ⑧ 成果指標, ⑨ 上位成果指標.

(2) 指標値の推移

Table with columns for 区分, 単位, 24年度(実績), 25年度(実績), 26年度(実績), 27年度(計画), 28年度(目標), 29年度(目標), 30年度(目標) and rows for ⑥活動指標, ⑦対象指標, ⑧成果指標, ⑨上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 24年度, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度 and rows for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源), 人件費 (正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計), トータルコスト(A)+(B), 26年度事業費実績, 27年度事業費予算, 28年度事業費計画, 29年度事業費計画, 30年度事業費計画.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 27年度の事業内容, 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容 and a large text area for implementation details.

事務事業名	適応指導教室事業	事務事業No.	30133011	所属課	教育指導課
-------	----------	---------	----------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 子ども教育相談事業を平成17年度から市内3ヶ所の公民館で週1日・相談員1名で開設していました。平成22年4月に大和体力増進センターに「適応指導教室」を開設し学校不適応児童生徒・保護者に対して教育相談活動及び援助・指導を行っている。それに伴い子ども教育相談事業は廃止になった。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 利用者及び学校関係者から開設日の要望あり

【See】 2. 評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている カウンセラー・相談員を配置し、不登校児童・生徒に援助指導を行うことは豊かな心を育む教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である カウンセラー・相談員を配置することは市の責務
	③対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 対象は市内の全児童生徒であり、その不安や悩みが相談できることが意図であり、施策の学校教育の充実からみて妥当である。
有効性	④成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 通級者及び相談員等の増加により開設日の拡大を検討する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 指導の効果には時間がかかるため継続的な援助指導が必要である
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 専門的知識を必要とするため削減の余地がない
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 最少の人数配置になっているため削減の余地がない
公平性	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 学校からの手続きにより入級する

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策 現状週4日の開設であるが、年々入室者や相談者が増加している面を考慮し週5日開設も検討が必要	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 相談員・カウンセラーの配置や予算の確保が課題となってくるため、県からの補助など様々な手段を検討する	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>